

河川基金助成事業

「平間ガサガサ探検隊」 報告書

助成番号：2022 - 7211 - 006

川崎市立 平間小学校

校長 氏名 佐川 昌広

2022 年度

助成番号	助成事業名		学校名			
2022-0000-000	平間ガサガサ探検隊		川崎市立平間小学校			
所在地	川崎市中原区上平間1480	対象河川名	多摩川			
対象学年	5学年(90人)	主たる教科	総合的な学習の時間			
河川教育の目標	多摩川をよりよくするために自分たちにできることを考え、実践していく活動を通して、生き物や環境への関心を高め、自分たちの生活との関わりに気付くとともに、様々な人と協力することの良さや、地域への愛着や誇りを高め、地域の一員としての知識をもって行動していけるようにする					
育成したい資質・能力	自立と共生を目指し、平間プライドを育むとともに、自分に自信をもち、自分たちで考え、進んで行動する力					
学習活動の内容と成果						
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの興味をきっかけに多摩川でのガサガサ探検を繰り返し行った。その際、保護者や多摩川の専門家の方やカワサキ水族館の職員の方たちにもご協力いただきながら生き物観察を行った。様々な生き物が生きていることに気づくとともに、ゴミも多く落ちていることに気が付いた。 「海の落語プロジェクト」の方々をゲストティーチャーにお呼びし、マイクロプラスチックの問題について出前授業を行った。海に流れ出ているゴミのほとんどが、町から出て川から流れ出ていることを知った。 自分たちにできることを考え、クリーン活動を行った。多摩川だけでなく、地域の公園や商店街へも活動場所を広げた。 自分たちだけで取り組むだけでは足りないことに気が付き、より多くの人を巻き込むために広報活動を行った。町にポスターを貼ったり、一緒に活動を行ってもらうように呼びかけたりした。ラジオ出演をして呼びかけたチームもあった。 学校の行事である「平間SDGsフェス」にて他学年児童や保護者へ自分たちの取り組みを紹介し、よりよい多摩川、環境にしていこうと呼びかけた。 商店街と協力し、巨大壁画アートを作り、未来の多摩川を楽しく描き、見に来た人たちへよりよい未来づくりを呼びかけた。 <p>○子どもたちが主体的に活動に取り組み、多摩川やそこに住む生き物、自分たちの生活が環境に与える影響などを考えるようになった。</p> <p>○日頃からSDGsや環境と結び付けて考える力、習慣がついた。</p>						
学びの創意工夫点	<ul style="list-style-type: none"> 「地域を巻き込むSDGsアクション」に取り組んだことで地域への意識が高まった。ただ学んだり考えたりするだけでなく、学校を飛び出して地域との方と関わりながら活動することで、地域への愛着や自己肯定感の高まりが感じられた。 トライ&エラーを繰り返す中で思考したり思いを高めたりした。子どもが自由に試行錯誤できる時間を確保したり、壁となる課題を設定したりした。子どもたちは活動を繰り返す中で多摩川や環境への意識を高めていた。 					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	<ul style="list-style-type: none"> ゴミをポイ捨てしなくなり、町に落ちているゴミを拾うようになった。 生き物に興味をもつようになった。 地域への思いが高まり、平間の町がより好きになった。 					
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援の概要	子どもたちと一緒に生き物調査を行ったり、子どもたちが川で活動するためのライフジャケットを提供していただいたり、魚の観察をするための鮎を提供していただいたりした。					
成果発表	成果作品			発表方法		
	ポスター、模造紙、パワーポイント、アート			パワーポイント、体験、クイズ、劇		
今後の課題・展開						
教科等横断型にしていきたい。また、活動の流れをより子どもたちの思考でつながるようにしていきたい。						

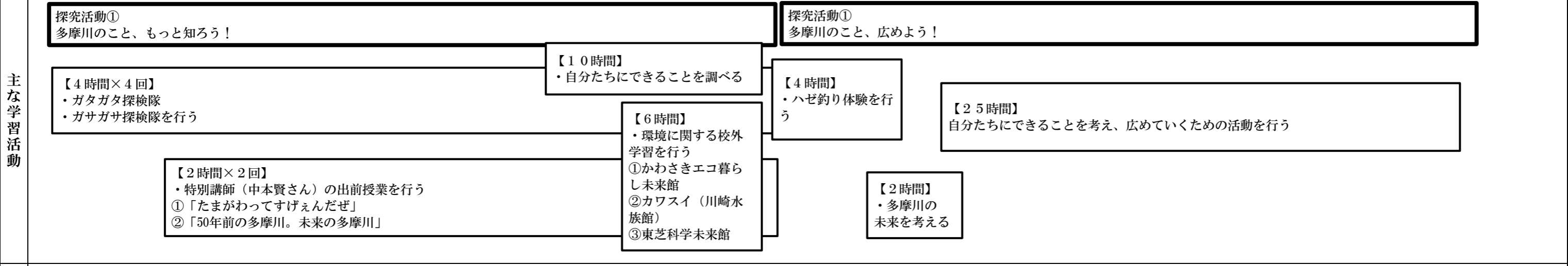
・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

教育計画書(単学年)

学校名	川崎市立平間小学校											
1.助成事業名	平間ガサガサ探検隊											
2.子どもに育成したい力	自立と共生を目指し、平間プライドを育むとともに、自分に自信をもち、自分たちで考え、進んで行動する力											
3.河川教育の目標	多摩川をよりよくするために自分たちにできることを考え、実践していく活動を通して、生き物や環境への関心を高め、自分たちの生活との関わりに気付くとともに、様々な人と協力することの良さや、地域への愛着や誇りを高め、地域の一員としての知識をもって行動していけるようにする											
4.学年/人数	第5学年 87名											
5.活動場所	多摩川											
6.単元構想(総時間数)	総合 70時間											

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
---	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

学年単元目標	<p style="text-align: center;">単元名：平間ガサガサ探検隊</p> <p style="text-align: center;">多摩川をよりよくするために自分たちにできることを考え、実践していく活動を通して、生き物や環境への関心を高め、自分たちの生活との関わりに気付くとともに、様々な人と協力することの良さや、地域への愛着や誇りを高め、地域の一員としての知識をもって行動していけるようにする</p>											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



育成したい能力	<p style="text-align: center;">知識・技能</p> <p>①多摩川にはたくさんの興味深い生き物がいることを知っている。 ②環境と人々の生活との関わりに気付くことができる ③生き物や環境のことを考えて行動することができる。</p>	<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p> <p>①課題を見出し、見通しをもって活動することができる。 ②インタビューやインターネットなど、様々な手段で情報を集めることができる。 ③目的に応じて、様々な情報を整理することができる。 ④調べたことや自分の考えを伝える相手に応じて、工夫して発信することができる。</p>	<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①多摩川に住む生き物や環境、人々の生活との関わりに関心をもち、進んで活動しようとする。 ②試行錯誤しながら、根気強く活動しようとしている。 ③地域への愛着や誇りをもち、自分にできることをしようとしている。</p>
---------	---	--	--

1.助成事業名	平間ガサガサ探検隊	学校名	川崎市立平間小学校	助成番号	2022-7211-006
---------	-----------	-----	-----------	------	---------------

5.実際にいった単元構成
 (注)活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
	<p style="text-align: center;">平間ガサガサ探検隊</p> <p>多摩川での生き物調査活動を通して、多摩川への興味関心を高めた。また、落ちていたゴミに気づき、環境問題への意識をもった。</p> <p style="text-align: center;">関連教科:総合学習15時間</p>			<p style="text-align: center;">平間発！多摩川クリーンプロジェクト！</p> <p>自分たちにできることを考え、まずはゴミ拾い活動w行った。多摩川だけでなく、町のゴミにも気が付き、公園や商店街などにも活動範囲を広げた。しかし、自分たちが活動しているだけでは足りないということから、町の人たちにも協力してもらうために、ポスターでの呼びかけやアンケート調査を行い、町の人意識調査を行った。</p> <p style="text-align: center;">関連教科:総合学習15時間</p>			<p style="text-align: center;">平間発！未来創造プロジェクト ～子どもも大人もレッツアクション～</p> <p>「地域を巻き込むSDGsアクション」を合言葉に自分たちにできることを考え行動した。それぞれの興味関心や、得意なことをいかしてグループごとに活動した。</p> <p style="text-align: center;">関連教科:総合学習40時間</p>					
学習活動の結果	<p>平間ガサガサ探検隊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し多摩川へ通い、生き物探しを行った。 ・体験の度に意欲が高まり、様々な発見や疑問をもつようになった。   	<p>ゲストティーチャーの講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川のことに詳しい方をゲストティーチャーにお呼びした。生き物のことや、多摩川の歴史を教えてください、多摩川への愛が高まった。 	<p>ゲストティーチャーの講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の落語プロジェクトの方たちにお越しいただき、海洋ごみの問題について楽しく教えていただいた。海に流れ出ているゴミのほとんどが町からでて出ていることを教えてください、自分たちにできることを考えるきっかけとなった。 	<p>クリーン活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川のゴミ拾いを行った。 ・町のゴミにも気が付き、公園や商店街にも活動範囲を広げた。  	<p>ポスター活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターでまちの人たちにも一緒に取り組んでもらえるように呼びかけを行った。商店街の方々にご協力いただき、様々なお店に貼らせていただいた。  	<p>アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の人たちの意識調査を行った。どのくらい多摩川やまちのゴミやSDGsについて意識をもっているか街頭インタビューやQRコードを作成して様々な意見を集めた。  	<p>チームでの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の住処づくりチーム、ゴミ箱設置チーム、竹細工チーム、リサイクルチーム、リメイクチーム、ラジオ出演チームなど、様々なチームに分かれて活動した。  	<p>発信する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 「平間SDGsフェス」「エネルギーワークショップ」「壁画アート」など、様々なイベントを活用し、自分たちの活動を広めたり、呼びかけを行った。  				

6.得られた成果

- ・多摩川での体験活動がきっかけとなったため、多摩川が好きになった。
- ・多摩川やごみ問題が子どもたちにとって自分事となったため、学校の外にたくさん出てゴミ拾い活動をしたり、町の人たちにも協力してほしいという思いをもったりすることができた。
- ・トライ&エラーを繰り返すことのできる機会、時間を確保した単元構想をしていたので、主体的に学習に取り組み、自分たちがやりたいことを実現するためにどんなことができるのかをよく考えて行動に移していたところがよかった。自分たちで外部の方に質問をしたり交渉をしたりと、積極的に活動することができた。また、SDGsフェスでは、発表対象を明確にできていたため、発表準備からとても意欲的に取り組むことができた。

7.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果

- ・5年生の各教科との関連がたくさんあり、教科等横断型の学習にしやすいところがあった。
- ・実際に体験活動を行い、多摩川への愛着や自然への興味関心の高まりがあったからこそ70時間意欲の高さを継続することができた。
- ・今までは遠い存在だった多摩川が子どもたちにとってふるさとの川に変わった。さらに自分たちの行動や生活が環境と関わっていることに気付けるようになった。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7211-006	平間ガサガサ探検隊	川崎市立平間小学校



学習活動名：平間ガサガサ探検隊

日付：5月16日

見られた子どもの姿：

はじめは多摩川に入るのをためらっていたが、だんだんと生き物さがしに夢中になっていった。また、捕まえた生き物を専門家の方に見せ、名前や生態に興味津々で聞いていた。



学習活動名：平間ガサガサ探検隊

日付：5月18日

見られた子どもの姿：

夢中で生き物探しをしていた。



学習活動名：クリーン活動

日付：7月15日

見られた子どもの姿：

沢山のゴミをみつけた。楽しんで活動していた。

また大人のゴミが多いことに気が付いた。

大人の意識をどう変えたらいいかを考えるようになった。



学習活動名：ポスター大作戦

日付：10月14日

見られた子どもの姿：

自分たちで商店街のお店に交渉してポスターを貼らせていただいた。町に自分たちの描いたポスターがあることや地域の方が快く対応してくださり、愛着へとつながった。



学習活動名：街頭アンケート調査

日付：10月15日

見られた子どもの姿：

多摩川や平間のまちに対する意識調査を行った。
はじめははなしかけることに躊躇していたが、
だんだんと慣れてきて、自分たちの取り組みや今後の活動
について話したりすることもできるようになった。



学習活動名：街頭アンケート調査

日付：10月15日～

見られた子どもの姿：

より幅広い人の意見を調査するために、QRコードで
アンケートを作成し、いろいろなお店に置かせていただいた。
どんどん集計が増えるのをとても喜んでいた。



学習活動名：大人も子どももレッツアクション

日付：11月～

見られた子どもの姿：

多摩川のことを伝えたり、環境への意識を変えたりしてもら
うためにチームごとに自分たちの得意なことや興味に応じ
て活動した。

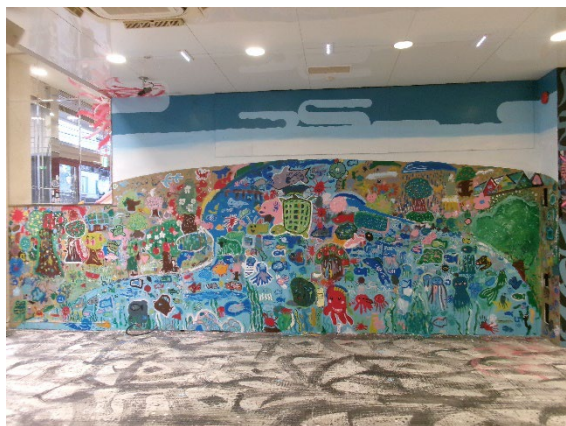


学習活動名：平間SDGsフェス

日付：1月21日

見られた子どもの姿

行事を生かし、他学年や保護者へ自分たちの取り組みや思い
を伝えた。生き生きと活動することができた。



学習活動名：壁画アート

日付：3月2日

商店街やアート団体の方、保護者と協力して作成。

「未来の多摩川」をテーマに楽しんで活動した。

注) 写真は校外や学校・教室での学習活動ごとに添付してください (枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

第5学年 総合的な学習の時間指導案

1. 単元名「平間発！未来創造プロジェクト～子どもも大人もレッツアクション～」

2. 単元目標

多摩川での体験活動をきっかけに環境に関わるSDGsアクションを考え実践していく活動を通して、人々の生活と環境問題との関わりに気づき、地域環境をよりよくしていくためにできることを考え、相手意識や持続可能な社会づくりへの意識をもって自分にできることに取り組もうとする。

3. 評価規準

目指す子ども像	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
環境問題の解決に向けたSDGsアクションを考え、追究意欲をもって取り組む子	<p>① 多摩川にはたくさんの生き物が生きていることや、昔よりもきれいになってきたことを理解している。</p> <p>② 調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施している。</p> <p>③ 地域環境への自らの意識の高まりは、人々の生活と環境との関わりについて探究的に学習してきた成果であることに気付いている。</p>	<p>① 地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。</p> <p>② 課題の解決に向けて必要な情報を、手段を選択して、多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。</p> <p>③ 集めた情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連づけたりしながら整理している。</p> <p>④ 伝える相手や目的に応じて、自分の考えや活動の成果をまとめ、表現している。</p>	<p>① 多摩川の生き物や環境、人々の生活との関わりに関心をもち、探究活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 調査活動をして得た知識や、友達の考え、専門家の意見などを生かしながら、協働して課題を解決しようとしている。</p> <p>③ 地域環境をよりよくしていくために、相手意識や持続可能な社会づくりへの意識をもって自分にできることを考え、進んで取り組もうとしている。</p>

4. 子どもの実態と教師の願い

学年の子どもたちの雰囲気としては、エネルギーがあり、何事にも夢中になって活動することができる。その一方で、相手意識が低く、自分本位な言動を取ってしまうことや、周りの人や環境にどのように影響するか考えが及ばないことが多い。悪気なく相手を傷つけてしまう子どもや、公園でポイ捨てをしている子どもなども目立つ。

総合的な学習の時間においては、3年時にはコロナ禍で遊びや活動が制限されていたことから「コロナ禍でも楽しく遊ぶための遊びの開発する」という課題を見出し、探究活動を行った。子どもたちは夢中で活動し、主体的に活動することのよさを感じていた。4年時には、「平間のまちの防災」をテーマに平間や川崎のまちの人たちの防災への理解や意識を高めるための活動を考え、探究活動を行った。その中で、地域の方と関わることのよさや、伝えることの楽しさや大切さ、GIGA 端末を学習でどう活用できるのかなどを学んできた。5年時では、これまでの学びをつなぎ、生かしながら探究課題を「環境」へとつなぎ、自分たちにできるSDGsアクションに取り組んでいってほしいと考えている。また、「地域を巻き込む」というキーワードをもとに、平間のまちや多摩川などの地域環境を地域の人たちとともに守る活動に取り組み、その活動の輪を広げていってほしいと期待している。



5. 研究テーマに迫るために

(1) SDGsアクションの内容と目指す子どもの姿

高学年の目指す子ども像：課題やめあてを選択し、目的や問題意識をもって学習に臨む子

：SDGsの視点で地域のことを考え、SDGsアクションに取り組む子

5学年の目指す子ども像：環境問題の解決に向けたSDGsアクションを考え、追究意欲をもって取り組む子

本単元では、多摩川での生き物探しをきっかけに、自然と関わることのよさや楽しさを感じるとともに、それまで知らなかった多摩川や自然の魅力、歴史を知り、身の回りの環境問題や持続可能な社会づくりへの意識をもって自分たちにできることを考え、実行していってほしいと考えている。そのため本学年でのSDGsアクションの内容を以下の流れで行うことを想定している。

①「平間発！多摩川クリーンプロジェクト！」

まずは自分たちの力ですぐにできることに取り組む。ゴミ拾いをしたり、ゴミを捨てないでと呼びかけるポスターなどを作ったりする。しかしそれだけでは足りないことに気づき、もっと大きな取り組みを行う必要性に気付く。

②「平間発！未来創造プロジェクト～子どもも大人もレッツアクション～」

よりよい未来のために、大人や企業はどんなことをしているのかを調べる活動から興味を広げ、かわさきSDGsパートナーなどの企業の方たちと一緒に活動し、自分たちにできることを行っていく。クラスの中で興味関心別に、海洋プラスチック・林業・国産材の活用・ゴミ・新素材・生き物などのテーマをもってアクションを考え、実行していく。その際、各テーマごとに企業と協力しながら活動し、商品開発やその宣伝活動を行ったり、よりよい未来にしていくために、1人ひとりができる行動を広めたりする活動を行う。そして、平間SDGsフェスやエネルギー環境子どもワークショップなどの機会を生かし、これまでの取り組みをより多くの人に広げていく活動を行う。

このようなSDGsアクションに取り組む中で、人々の生活と環境との関わりに気付き、地域の人たちを巻き込み、持続可能な社会づくりという意識をもって夢中で活動する子どもたちの姿を期待している。

(2) テーマに迫るための手立て

① 子どもの学びをつなぐために、多摩川との出会わせ方を工夫する

本校では、4年「防災」5年「多摩川」6年「商店街」と、各学年が総合的な学習の時間で取り組むテーマが定着してきている。そのため、年度初めの時点で、子どもたちの中でも「5年は多摩川でしょ？」とわかっているところもある。しかしながら、子どもたちの思いで学習を進めていくためにも、4年での学びを5年での学習に生かしていきたいと考えた。4年「防災」において、多摩川は暴れ川・危険というイメージをもっていることを前担任から聞いていた。そこで、「多摩川は危険・汚い」という子どもたちの抱えている多摩川へのイメージをきっかけに、実際どうなのか見に行ってみようという流れで多摩川と出会わせ、子どもたちの学びをつなぐとともに、子どもたちの思いでスタートできるようにする。

② 多摩川への思いを高めるために、繰り返し多摩川と関わる機会を設定する

まずは、1回目、多摩川はどのような様子なのかを見に行くことから始める。すると、思っていた以上に水がきれいなことや、飛び跳ねる魚や様々な植物など、たくさんの生き物の気配を感じることになる。子どもたちは水の中に入りたいと思うようになり、次回は水の中に入れる準備をして来ようという思いをもつ。2回目、ライフジャケットを着て、網や仕掛け、水中メガネなど、それぞれ思い思いのものをもってガタガタ探検を行う。生き物を捕れる子とそうでない子が出てくる。もっと魚を捕って観察してみたいという思いをもつようになる。3回目、多摩川に住む生き物を調査しようという思いをもってガタガタ探検に取り組むことになる。網やバケツを用意し、多摩川のプロ中本賢さんに魚の捕り方も教えてもらい、みんなで生き物調査を行う。その結果から自分たちのイメージしていた「危険で汚い多摩川」は、実際には「思っていた以上にきれいでたくさんの生き物が生きている川」だということに気付くとともに、「自分たちの身近にはこんなにも面白くて価値のある川が流れていた」ことに気付くこととなる。繰り返し多摩川と関わる機会を通して、子どもたちはそれまでは遠い存在であった多摩川への思いを高めていくと考える。

③ 正しい知識を得たり安全に活動したりするために、専門家の方との関わりを設定する

本単元では、多摩川をきっかけに環境への意識を高めていく。そのため、多摩川との関わりは欠かせない。川などの自然と関わる上では、その危険性や自然との関わり方を正しく理解する必要がある。そのため、専門家の方のお話を聞いたり一緒に活動していただいたりすることで、安全に配慮して活動できるようにしていく。今回は中本賢さんや多摩川クラブ阿部秀夫さんやカワスイ（川崎水族館）の職員の方にご協力いただき、一緒に活動していく。

④ 子どもにとってより価値ある学びにするために、教科等横断型の学習を意識する

国語や図工、社会や道徳などの教科等とのつながりを意識して学習を進めていく。子どもたちが生

き物や川、環境などのことについて調べたいと思った時に、GIGA 端末だけでなく図書室の本も活用することができるように、国語「図書館の使い方」を生かして図書館司書から学んだり、未来の多摩川を想像したいという思いを図工「まだ見ぬ世界」を活用して表現する活動を行ったりと、総合的な学習の時間を軸にして他教科等の時間を子どもたちにとってより意味のある学びにしていく。

⑤ 子どもたちの思いを実現し、次のプロジェクトへ発展させるために、クリーン活動を行う

多摩川への思いを高めた子どもたちがまず考えることは「ゴミ拾いをしよう」ということになる。その思いを淘汰してしまうのではなく、まずはチャレンジさせ、実現させることで、自分たちにもっとできることはないのだろうかと思うきっかけにしてほしいと考えている。自分たちがゴミを拾うだけでは、自分たちの大きな目標を達成することにはつながらないことや、他の人や大人と協力して活動する必要性を感じ、探究活動2での本単元で目指すSDG sアクションにつなげていきたいと考えている。






⑥ 地域を巻き込むために、企業と協働して行うSDG sアクションに取り組む

本単元のメインの活動である企業と協働して行うSDG sアクションに取り組むために、かわさきSDG sパートナーの制度を生かして、子どもたちが大人と一緒に環境問題へ取り組むことのできる機会を設定する。新たな商品開発を行ったり、新素材の広報活動を行ったりと、創造的な活動になることを期待している。

⑦ 自分たちの取り組みを広めるために学校行事を生かす

本校のSDG sフェスや、エネルギー環境子どもワークショップなど、地域や他校との交流の機会を生かし、自分たちの取り組みを広める活動を行う。たくさんの方との関わりを通し、自分たちの活動の意義や成果を感じるとともに、達成感を得て、地域環境への自らの意識の高まりは、これまでの探究活動の成果であることに気付くとともに、これからも相手意識や持続可能な社会づくりへの意識をもって自分にできることを続けていこうという思いに到達してほしいと考えている。

6. ESD カレンダー

第5学年ESDカレンダー												
教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	図書館を使いこなそう		古典芸能の世界	目的に応じて引用するとき みんなが過ごしやすい町へ		新聞を読もう	敬語 よりよい学校生活のために	固有種が教えてくれること グラフや表を用いて書こう			提案しよう、言葉とわたしたち	
算数							平均		割合	割合とグラフ		
理科			魚のたんじょう				流れる水のはたらき					
社会	国土と世界、気候、自然条件と人々の暮らし			未来を支える食料生産			未来をつくり出す工業生産				国土の自然と共に生きる	
総合的な学習の時間	<p>平間発！未来創造プロジェクト～子どもも大人もレッツアクション！～</p> <p>活動の動機付け ～平間ガタガタ探検隊～</p> <p>探究活動1 平間発！多摩川クリーンプロジェクト</p> <p>探究活動2 平間発！未来創造プロジェクト～子どもも大人もレッツアクション～</p>											
外国語						    		SDG s フェス	エネルギーワークショップ			
特別活動												
道徳		一ふみ十年	命の詩—電池が切れるまで				だれもが幸せになる社会を	クールボランティア	おおきに、ありがとう	小さな国際親善大使	おばあちゃんからもらった命	アンパンマンがくれたもの
音楽												
図工	まだ見ぬ世界					ポスターで伝えよう				伝えたい思いや気持ち		
体育				水の事故防止の心得								
家庭					持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方			物を生かして住みやすく				
	環境の教育	多文化の理解	人権・命の教育	関連する内容・活動								

7. 単元構想図（全70時間）

「平間発！未来創造プロジェクト
～子どもも大人もレッツアクション～」

〈凡例〉

- 活動の動機づけ
- 探究活動
- 目指す子どもの姿
- 手立て
- ※斜体 他教科との関連
- (主一〇) 評価

現在の子どもの姿：

エネルギーがあり、何事にも夢中になって活動することができる一方、相手意識が低く、自分本位の言動を取ってしまうことや、その言動が周りの人や環境にどのように影響するか考えが及ばないことが多い。

活動の動機づけ

15時間

- これまでの総合的な学習の時間を振り返り、4年の「防災」で学んだことをもとに、多摩川のイメージ（暴れ川・危険・汚い）を広げる。
- 実際に多摩川（ガス橋の干潟）へ行き、川の様子を観察する。
1回目：手ぶらで 2回目：ライフジャケットを着て
・多摩川は思っていたよりもきれい。どんな生き物がいるのか捕えてみたい！
- 中本賢さんの話「多摩川は問題を探すところではない、未来を探す場所だ！」を聞く。
- 多摩川に住んでいる生き物の種類や捕り方を調べる。※国語「図書館の使い方」
- 3回目：多摩川（ガス橋の干潟）で生き物を捕らえ、観察する。（ガタガタ探検）
- 50年後の多摩川を想像し、絵にする。※図工「まだ見ぬ世界」
- 山（自然教室）で上流の川の様子を見る。
- 海（殿町の干潟）で生き物調査を行う。（ガタガタ探検）
・自然と関わるって楽しいな。
・多摩川にはたくさんの生き物がいることがわかったよ。
・多摩川が自分にとってとても大切な場所になったよ。
・思っていたよりもきれいだったけどやっぱりゴミも多い。きれいにしたい！
・自分たちには、どんなことができるだろう。
- 海の落語プロジェクト「海の落語」を聞く

手立て
①～④

探究活動1

平間発！多摩川クリーンプロジェクト！

手立て⑤

15時間

課題の設定（思一①） （知一②）	多摩川や環境をよりよくしていくために自分たちにできることを考え、活動の計画を立てる。
---------------------	--

- ・みんなでゴミ拾いをするためにイベントを企画したいな。
- ・ゴミを捨てないで！という看板やポスターを作ろうよ！※図工「ポスターで伝えよう」
- ・かわさきSDGsパートナーの人たちと何か一緒に活動することはできないかな。

情報の収集（思一②） 整理・分析（思一③）	自分たちにできることを実践し、その成果を考察する。
--------------------------	---------------------------

- ・たくさんのゴミを拾うことができたよ。
- ・町の人たちも巻き込んで活動することができたね！

まとめ・表現 (主—②) | これまでの活動を振り返る。

- ・自分たちにできることをこれからも続けていきたいな。
- ・もっと多摩川や環境をよくしていくために自分たちにできることはないかな。

活動の動機づけ

○企業の方たちと出会う機会を紹介したり設定したりする。

手立て⑥

探究活動 2

30時間

平間発！未来創造プロジェクト～子どもも大人もレッツアクション～（活動編）

課題設定 (思—①)

テーマ別にグループを作り、地域を巻き込むSDGsアクションを考え、活動の見通しをもつ。

- ・〇〇をするために、〇〇さん（企業）と一緒に「〇〇プロジェクト」に取り組んでいくよ！
- 【テーマはクラスの実態に応じて異なることを想定】

情報収集 (知—②)

企業の取り組みを調べたり、プロジェクトの達成に向けて、実際に整理分析 (主—②) 行動したりする。

- ・「〇〇プロジェクト」を成功させるぞ！
- ・どうすればもっとゴールに近づくことができるだろう。

まとめ・表現 (思—④)

自分たちの活動の成果をまとめたり、広めたりする。

- ・「〇〇プロジェクト」の活動をもっとたくさんの人に広めていきたいよ！

活動の動機づけ

○SDGsフェスやエネルギーワークショップなどで自分たちの活動を広める機会があることを伝える。

探究活動 3

10時間

平間発！未来創造プロジェクト～子どもも大人もレッツアクション～（広める編）

課題設定 (思—①)

自分たちの活動を伝える相手や目的に応じて分かりやすく伝える方法を考え、活動の見通しをもつ。

- ・これまでの取り組みをまとめて、たくさんの人に伝えよう。
- ・「〇〇プロジェクト」で開発した商品をもっとたくさんの人に知ってもらえるようにしよう！

手立て⑦

まとめ・表現 (思—④)

様々な機会を生かして発表→改善を繰り返し、自分たちの取り組み (知—③) (主—③) を広めていく。

- ・たくさんの人たちに伝えることができたよ。
- ・これからも多摩川や環境のために自分たちにできることを考えたり取り組んだりすることを続けていきたいな。

目指す子どもの姿

多摩川での体験活動をきっかけに環境に関わるSDGsアクションを考え実践していく活動を通して、人々の生活と環境問題との関わりに気付き、地域環境をよりよくしていくためにできることを考え、相手意識や持続可能な社会づくりへの意識をもって自分にできることに取り組もうとする。

8. 本時につながる学びの展開 (1組)

主な学習活動と予想される子どもの姿	☆評価【評価方法】
<p>○海の落語プロジェクトの話を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままだと海のゴミは魚の量より多くなってしまいうんだね。 ・海のゴミは川から流れ出ているんだ。そして川のゴミは街から流れ出ているんだね。 ・多摩川や平間の街にはゴミがたくさん落ちていたよ。多摩川の豊かさを守り未来につなげていくために、自分たちにできることはなんだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>探究活動1 平間発！多摩川クリーンプロジェクト！</p> </div> <p>○多摩川の自然を守るために何ができるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾いをみんなでしたいな。 ・生き物を守りたいから隠れ家をつくりたいな。 ・すぐにできるころは何だろう。 <p>○多摩川のゴミ拾いに行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色んなごみが色々なところに落ちているね。 ・多摩川に向かう途中でもゴミを拾ったよ ・多摩川だけじゃなくて、商店街や公園にもゴミ拾いに行きたいな。 <p>○平間商店街と平間公園のゴミ拾いに行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこの吸い殻が多いね。 ・フライパンのようにまだ使えるものも捨てられていてもったいない。 <p>○これまでの活動を振り返り、今後の活動を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうゴミ拾いに行っても終わりが無いよ。 ・ポスターを作って「ゴミ拾いをしないで」と伝えたいな。 ・平間公園にはゴミ箱がなかったから設置したいな。 ・平間商店街に灰皿を設置したらたばこの吸い殻は減るよね。 ・多摩川のイメージ調査をして何をやる必要があるのか知りたいな。 ・拾ってきたごみを処分しないとイケないね。生き物の隠れ家づくりに使えるものはあるかな。 ・やることがいっぱいだから、チームに分かれて活動していこう。 <p>○チームごとに活動の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ箱チーム ゴミ箱を置くために許可を取らないとイケないね。ゴミ箱をどうやって準備するのも決めないとイケないね。 ・灰皿・喫煙所チーム 平間商店街に許可を取らないとイケないね。灰皿はどうやって作ろう。 ・アンケートチーム 誰に、どんな内容のアンケートをとるのか決めないとイケないね。どうやって配るのかも決める必要があるね。 ・隠れ家づくりチーム 多摩川にどんな生き物がいて、どんな隠れ家が必要か調べる必要があるね。どうやって隠れ家を作るのかも決めないとね。 ・ポスターチーム 掲示するための許可を取らないとイケないね。デザイ 	<p>☆思—① 地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。【ノート、行動観察】</p> <p>☆態—① 多摩川の生き物や環境、人々の生活との関わりに関心を持ち、探究活動に進んで取り組もうとしている。【ノート、行動観察】</p> <p>☆思—② 課題の解決に向けて必要な情報を、手段を選択して、多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。【行動観察】</p> <p>☆知—②</p>

ンも決めないといけないね。

○期限を決めて、チームごとに活動をする。

・**ゴミ箱チーム** ゴミは持ち帰ってほしいから、ゴミ箱を置くことはできないと言われてしまったから、携帯ゴミ箱を作って配ろうとしたけど難しかったよ。

・**灰皿チーム** 灰皿も置くことはできないと言われてしまったから、携帯灰皿を作って配ろうと思ったけど、難しかったよ。

・**アンケートチーム** アンケートを保護者や地域の人にとってみたよ。それとは別に、地域の人とのゴミ拾いも企画しているよ。

・**ポスターチーム** 商店街にポスターを貼ったり、ティッシュに入れるちらしのデザインを考えたよ。実際にゴミが減るかどうかは定期的に見に行かないといけないな。

・**隠れ家づくりチーム** 多摩川に実際に隠れ家を置いてみたけれど、ながされてしまったよ。

○チームの活動を振り返って、このあとの活動を考える。**本時**

・うまくいかなかったチームがあるみたいだね。

・正しい方法が分からなかったり、材料を集められなかったりと自分たちの力だけでは限界があったからうまくいかなかったんだね。

・うまくいくためには、どうしたらいいのかね。

・詳しい人に教えてもらったり、一緒に活動したらうまくいきそうだね。

○チームごとに協力をしてくれそうな企業を探す。

・隠れ家づくりには、カワスイの人に協力してもらえそうかな。

・携帯ゴミ箱を作るための材料を集めてくれる企業はないかな。

・一緒にゴミ拾いイベントを開催してくれる企業はないかな。

○企業と一緒に活動するための計画を立てる。

○企業と一緒にチームごとに活動を進めていく。

調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施している。**【行動観察】**

☆思一①

地域の自然環境への関りを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。

【発言・行動観察・ワークシート】

☆思一②

課題の解決に向けて必要な情報を、手段を選択して、多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。**【ノート、端末、行動観察】**

探究活動2 平間発！未来創造プロジェクト～子ども大人もレッツアクション～（活動編）

9. 本時の展開 (35 / 70) (1組)

(1) 目標：地域の自然環境への関わりを振り返り、気づいたことをもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される子どもの姿	○支援 ☆評価【評価方法】
<p>これまでの活動を振り返って、これからどうするのか話し合おう。</p>	
<p>1. これまでのチーム活動を振り返る。</p> <p>ゴミ箱チーム ゴミ箱を置くことはできなかつたよ。携帯ゴミ箱を作って配ろうとしたよ。もっと丈夫なものをたくさん作りたいな。</p> <p>灰皿・喫煙所チーム 商店街に灰皿を置くことはできなかつたよ。携帯灰皿を作って配ろうとしたよ。材料を集めることが難しかったから、集める方法はないかな。</p> <p>隠れ家チーム 生き物を守るために隠れ家を置くことはできたけど、流されてしまったよ。もっと丈夫な隠れ家を作りたいな。</p> <p>アンケートチーム 多摩川の印象は思ったよりも良かったよ。また、地域の人と一緒にゴミ拾いをすることも企画することにしたよ。</p> <p>ポスターチーム ポスターを貼れたよ。ポケットティッシュにもちらしを入れられたよ。でもこれだけでいいのかな。まだ何かできそうな気がするよ。</p> <p>2. 今後の活動をよりよくするためのアイデアを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのチームも自分たちの力では厳しいよ。 ・だれか詳しい人に正しい方法を教えてもらえないかな。 ・隠れ家づくりだったら、カワスイの人は協力してくれそうかな。 ・他のチームも、協力してくれる企業を見つけて 	<p>○掲示物や写真を用いることで、これまでの活動を振り返られるようにする。</p> <p>○活動が失敗してしまったチームは、失敗の原因を共有することで、解決するための方法を考えられるようにする。</p> <p>○活動が失敗してしまったチームは、自分たちの力だけでは活動に限界があるという共通点があることに気付けるようにする。</p> <p>○失敗してしまった原因と、それを解決するための方法を話し合うことで、これからの活動を考えられるようにする。</p> <p>○自分のチームだけではなく、他のチームのことも振り返ることで、色々な視点から活動の失敗原因や、成功するために必要なことを見つけられるようにする。</p> <p>○企業を協力することが児童から出なかった場合は、教師から提案する。</p>

<p>みたら解決しそうだね。</p> <p>3. 学習を振り返り、今後の活動への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの活動に協力してくれる企業を探してみよう。 ・自分たちの活動が、企業と協力することでうまくいきそうで嬉しいな。 	<p>☆思—①</p> <p>地域の自然環境への関わりを振り返り、気づいたことをもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。</p> <p>【発言・行動観察・ワークシート】</p>
---	--

本時の視点：これまでの活動を振り返ることで、地域の自然環境への関わりを振り返り、気づいたことをもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができていたか。

(5 学年の目指す子ども像)

環境問題の解決に向けた SDG s アクションを考え、追究意欲をもって取り組む子

8. 本時につながる学びの展開（2組）

主な学習活動と予想される子どもの姿	☆評価【評価方法】
<p>活動の動機づけ</p> <p>○海の落語プロジェクトの話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままだと海のゴミは魚の量より多くなってしまふんだね。 ・海のゴミは川から流れ出ているんだ。そして川のごみはまちから流れ出ているんだね。 ・多摩川や平間のまちにはゴミがたくさん落ちていたよ。多摩川の豊かさを守り未来につなげていくために、自分たちにできることはなんだろう。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>探究活動1 平間発！多摩川クリーンプロジェクト！</p> </div> <p>○活動の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでゴミ拾い活動をしたり、ポスターで呼び掛けたりしよう！ ・ゴミ箱を設置したり、ゴミ拾いイベントを開いたりしたい！ ・まずは自分たちにできることから始めてみよう！ <p>○ゴミ拾い活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川にはごみがたくさん捨てられていたよ。 ・平間公園や街路樹の中にたくさんのごみが捨てられていたよ。 ・アンケートで町の人々の意識を調査したり、ポスターでポイ捨てしないように呼び掛けよう！ <p>○グループに分かれて活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査をして町の人たちの意識を調べるよ。 ・ポスターを作ってポイ捨てをしないように呼び掛けるよ。 <p>○活動を振り返り、今後の活動を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果から <ul style="list-style-type: none"> ⇒もっと平間のまちや多摩川の実態を広める必要があると思った！ ⇒平間のまちの人は意識が高い！だからこそ一緒に活動できそうだ！ ・ポスターを貼ってみて <ul style="list-style-type: none"> ⇒近所の人から頑張ってるねって言われてうれしかったよ！ ⇒ポスターの目の前にゴミが捨てられていて悲しかったよ。 ・さて、これからどうしよう？ずっとゴミ拾いをしてても仕方ないよね… 	<p>☆思—①</p> <p>地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。【ノート、行動観察】</p> <p>☆態—①</p> <p>多摩川の生き物や環境、人々の生活との関わりに関心を持ち、探究活動に進んで取り組もうとしている。【ノート、行動観察】</p>
<p>活動の動機づけ</p> <p>○校長先生から助言をもらい、今後の活動に向けた視野を広げる。</p> <p>「商店街のポスターを見たよ。アンケート調査もやったみたいだね。自分たちの周りですることに取り組んでいることはとてもいいね。今後は、大人や企業がどんなことをしているかを調べてみたらどうかな。ゴミを“拾う”以外にも“減らす”“再利用する”“変える”“自然に還す”なんてこともあるよね。」</p> <p>・確かに、多摩川を大切にするためにはまちを大切にすることを海の落語で聞いたよね。自分たちにできることはゴミ拾いやゴミを減らすこと以</p>	

外にもあるかもしれないね！

- ・どんなことがあるか調べてみよう！
- 環境問題への企業や団体、行政や市民の取り組みなどを調べる。
- ・川崎市では〇〇という取り組みをしていることが分かったよ！
- ・〇〇という企業は〇〇という取り組みをしているよ！広めたいな。
- ・〇〇という団体と一緒にゴミ拾いイベントを企画することはできないかな？

活動の動機づけ

○大人とのコラボレーションという可能性があることを伝える。

例・・・Dydo さんとの自販機音声での呼びかけ

- ・グリーンボードさんとのゴミ拾いイベント開催
- ・TBM さんとのバナナペーパーの広報活動
- ・土にかえる容器の広報活動
- ・商店街の〇〇と環境への意識を高めるための商品の開発

- ・やりたいことが膨らんできたよ！
- 調べたことを共有し合い、興味のあるテーマごとにグループを作る。
- ・プラごみを減らすためにできることを考えたいよ！
- ・私は新しい農業の形に興味があるから、そのことを調べて広めたい！
- ・平間のまちにみんながゴミを拾いたくなる仕組みを作れたらいいな。
- ・みんながもっとエコバックを使うようになる方法を考えたい！
- グループごとにプロジェクトを立ち上げる。【本時】
- ・〇〇を目指して、「〇〇プロジェクト」に取り組むよ！〇〇という企業なら一緒に取り組むことができるんじゃないかな？
- ・「〇〇はじめませんか？」プロジェクトに取り組むよ！平間のまちの人がみんな〇〇をするようになれば、きつともっと平間のまちも多摩川も、未来の環境もよくなるはずだから〇〇を広められるようにするよ！

探究活動2 平間発！未来創造プロジェクト！

～子どもも大人もレッツアクション～

- グループごとにプロジェクトの具体的な計画を立て、活動の見通しをもつ。
- ・まずは〇〇をしよう。そして〇〇に連絡をして、いつまでに〇〇できるようにしたいね。
- 様々なステークホルダーと協力しながら、それぞれのプロジェクトに取り組んでいく。
- ・〇〇という会社が製品のことを教えてくれたよ！これをたくさんの人に広めていこう！
- 中間報告会を行い、それぞれの進捗状況を確認するとともに、困っていることを相談できる時間を作る。

☆思—②

課題の解決に向けて必要な情報を、手段を選択して、多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。【ノート、端末、行動観察】

態—③

地域環境をよりよくしていくために、相手意識や持続可能な社会づくりへの意識をもって自分にできることを考え、進んで取り組もうとしている。

【ノート、端末、行動観察】

知—②

調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施している。【ノート、端末、行動観察】

態—②

調査活動をして得た知識や、友達の考え、専門家の意見などを生かしながら、協働して課題を解決しようとしている。【ノート、端末、行動観察】

9. 本時の展開（36 / 70）（2組）

（1）目標：地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。

（2）展開

主な学習活動と予想される子どもの姿	○支援 ☆評価【評価方法】
チームの活動計画を立てよう！	
<p>1. 各チームの活動内容のアイデアを広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リユース（服・おもちゃ） ・アップサイクル ・アート ・生き物のすみか ・企業の取り組み、新素材を広げる ・竹の再利用 ・ゴミ拾いイベント ・ペットボトル回収 <p>2. 各チームのゴール（具体的な目標）を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のみんなに声をかけて、着られなくなった服を回収し、他の人に着てもらおう活動をして、リユースの意識をもってもらおうよ！ ・捨ててしまうものを有効活用したものを作って、平間のまちの人に見せて、アップサイクルの意識や行動を広げるよ！ ・平間のみんなと一緒にゴミ拾いイベントを行って、みんなにまちをきれいにする意識をもってもらえるようにするよ！ <p>3. 各チームのゴールの達成に向けて、活動の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは○○を調べることが必要だよね！ ・○○さんに協力してもらおうといいかも。 ・○○という企業に聞いてみようよ！ ・きっと○○を学び直す必要があるね。 <p>4. 本時を振り返り、今後の見通しをもつ。</p>	<p>○イメージマップを使って、発想を広げられるようにする。また、各チームを回り、必要に応じて助言を行う。</p> <p>○ワークシートを使って、活動の計画を立てられるようにする。</p> <p>○すべてのチームのゴールに無理やズレのないよう、全体で共有し、各チームが設定したゴールを確認しながら進めていく。</p> <p>○各チームを周り、適宜助言をしていく。</p> <p>☆思一① 地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 【ワークシート、ノート、行動観察】</p> <p>○各プロジェクトの進行具合に応じて、振り返りの時間を設ける。時間が足りない場合には無理には行わないようにし、次時に行う。</p>

本時の視点：これまでの活動や学びをもとに、相手意識や持続可能な社会づくりへの意識をもって、進んで取り組もうとすることができていたか。

（5学年の目指す子ども像）

環境問題の解決に向けたSDGsアクションを考え、追究意欲をもって取り組む子

8. 本時につながる学びの展開（3組）

主な学習活動と予想される子どもの姿	☆評価【評価方法】
<p>活動の動機づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多摩川のイメージ（暴れ川・危険・汚い）を広げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川は汚いし危ないし生き物はいなさそうだよ。 ○実際に多摩川へ行き、川の様子を観察する。 <ul style="list-style-type: none"> 【1回目：手ぶらで】 <ul style="list-style-type: none"> ・意外ときれい！魚が見えた！川に入ってみたい！ 【2回目：ライフジャケットを着て】 <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり魚がいるよ！どんなのがいるのか調べてみたい！ ○多摩川で生き物調査をするための準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川にはどんな生き物がいるのか図鑑で調べておこう。 ・調査をするときのための道具を準備しよう。 ・どうやったら生き物を捕まえられるのか、上手な人に話を聞こう。 ○中本賢さんのお話「多摩川は問題を探す場所じゃない、未来を探す場所だ！」を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川ってすごいね！ ・早く多摩川に行きたくなったよ！ ○ガタガタ探検を行う。【3回目：賢さん、カワスイの人たちと】 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川には珍しい生き物やたくさんの生き物が生きていることが分かったよ。 ・ゴミもあるけれど、それが生き物の住処にもなっているんだね。 ○賢さんとの関わりやガタガタ探検を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・生き物や多摩川、環境に興味をもつようになったよ。 ・50年前に比べて多摩川はきれいになったことがわかったよ。 ・未来の多摩川を想像してみたいな。 ⇒ ※図工「まだ見ぬ世界」 ・上流や下流にも行ってみたいな。 ○自然教室にて川の源流（山）を見学する。 <ul style="list-style-type: none"> ・とても水がきれいだよ。 ・川底は岩だね。 ⇒ ※理科「流れる水のはたらき」 ○殿町の干潟（海）でガタガタを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・貝やカニなどたくさんの海の生き物を見つけることができたよ。 ・やっぱりゴミがあるな。マイクロプラスチックかな。 ○これまでの活動を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・山と川と海のすべてと関わることができたよ。 ・自然ってすごいな。大切にしたいと思ったよ。 ・自然や環境を大切にしていくなのために私たちにできることはなんだろう。 	<p>☆知一① 多摩川にはたくさんの生き物が生きていることや、昔よりもきれいになってきたことを理解している。 【ノート、行動観察】</p>

○これから自分たちが行っていく活動の方向性を考える。 **本時**

- ・ゴミを捨てないでって看板を作りたいよ！
- ・多摩川のよさを広めていく活動をしたいな。
- ・生き物を守るための取り組みがしたいな。
- ・水をきれいにする方法を考えたいな。

探究活動1 平間発！多摩川クリーンプロジェクト！

○これからの活動の見通しを立てる。

- ・みんなでクリーン活動をしたり、ゴミを捨てないように呼び掛けたりするのはどうかな？

☆思—①

地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。【ノート、行動観察】

9. 本時の展開（15／70）（3組）

（1）目標：地域の自然環境への関わり（多摩川や八ヶ岳での自然との関わり）を通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。

（2）展開

主な学習活動と予想される子どもの姿	○支援 ☆評価【評価方法】
<p>1. これまでの体験活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス橋の干潟では、いないと思っていた生き物がたくさんいて、驚いたよ。 ・入笠山を流れる川は岩がごつごつしていて、水がとても透き通っていたよ。 ・ゴミがほとんど落ちていなくてびっくりした。 ・同じ多摩川でも場所によって住んでいる生きものが違って、面白いと思った。 <p>2. これからの学習課題について考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生は人の命を守ることを考えてきたけれど、5年生では生き物の命も守れるようになりたいな。 ・まずは身近な多摩川的环境をよりよくしていきたいな。 	<p>○体験した時の気づきをよりたくさん思い出せるよう、G I G A 端末で写真を共有しておく。</p> <p>○自分たちの思いや願いに気付けるよう、事実と思いを分けて掲示物をまとめておく。</p> <p>○自分たちの学びが地域（社会）に対してどんな価値があるのかを意識して活動を進めていくことができるようにするために、4年までの学習を振り返るようにする。</p>
<p>多摩川的环境を未来につなぐために（自分たちに）できることは何かを考え、学習計画を立てよう。</p>	
<p>3. 課題解決のために自分たちができることを考え、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは多摩川をきれいにしていきたいから、ゴミ拾いをしていきたいな。 ・まだ多摩川について知らないことがあるから、調べることも必要だと思う。 ・自分たちが学んだり、考えたりしたことを他の人に伝えることも大切だね。 ・どういう順序で進めていくといいのか考えることも大切だね。 <p>4. 学習を振り返り、次の活動への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾いをするためには、どんなことが必要なのかを考えていきたい。 ・自分たちだけではできないことは、誰に協力してもらえるのか調べていきたい。 	<p>○課題に切実感をもてるようにするため、環境を良くするのも悪くするのも人間であることを昔の多摩川の様子から確認するようにする。</p> <p>○これからの学習の見通しを一人一人がもてるようにするために、自分たちができること、学ぶ必要があることなど、視点を提示するようにする。</p> <p>○より自分たちの課題解決に適した計画になるよう、整理しやすい短冊（画用紙）で項目ごとにまとめるようにする。</p> <p>☆思一① 地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。【ノート、行動観察】</p>

本時の視点：これまでの体験をもとに、課題解決のための学習計画を立てることができていたか。

10. 成果と課題

【成果】

- ・多摩川での体験活動がきっかけとなったため、多摩川が好きになった。
- ・多摩川やごみ問題が子どもたちにとって自分事となったため、学校の外にたくさん出てゴミ拾い活動をしたり、町の人たちにも協力してほしいという思いをもったりすることができた。
- ・トライ&エラーを繰り返すことのできる機会、時間を確保した単元構想をしていたので、主体的に学習に取り組み、自分たちがやりたいことを実現するためにどんなことができるのかをよく考えて行動に移していたところがよかった。自分たちで外部の方に質問をしたり交渉をしたりと、積極的に活動することができた。また、SDGsフェスでは、発表対象を明確にできていたため、発表準備からとても意欲的に取り組むことができた。

【課題】

- ・多摩川のことだけで単元をすべて貫くのか、それとも、多摩川をきっかけに環境問題へと広げて考えていくのか、教師が見通しをもてなかった部分があり、子どもの活動のゴールがあいまいになってしまった。また、クラスごとに少しずつ活動内容やゴールに違いが出た点は、成果とも課題とも言える。
- ・各教科のねらいをさらに理解し、意識することができていれば、家庭科や図工、国語の学習などをもっと関連づけて取り組むことができたと感じる。
- ・総合開きを大切にすることで、学習の進め方や学ぶことの価値を話し合い、子どもたちとプロジェクト型のイメージを共有して取り組むことができたのは成果だが、PBLについてももう少し詳しく勉強し、根拠をもって指導支援できるようになるとよかった。

【地域を巻き込むSDGsアクションの実際、取り組みの成果と課題】

<p>平間・多摩川クリーンプロジェクト</p> <p>多摩川でのガタガタ体験にて生き物や多摩川の面白さや素敵さを感じるとともに、落ちていたり流れたりしているゴミに気づき、自分たちにすぐできることとして、ゴミ拾い活動を繰り返し行った。多摩川だけでなく、そこへ行く道中や、日頃遊んでいる平間公園、平間商店街へと活動範囲を広げて、クリーン活動を行った。</p>	<p>【成果】</p> <p>町に落ちているゴミへの関心が高まったことが感じられた。音楽鑑賞教室への道中、誰に言われることもなく、自分から落ちているゴミを見つけたり拾ったりする子どもたちの姿が見られた。</p>
<p>平間発！未来創造プロジェクト～大人も子どももレッツアクション～</p> <p>生き物の住処づくり、ゴミ箱設置、ポスターやチラシ、ラジオ出演などをして多くの人に多摩川やごみの問題について伝える活動を行った。</p>	<p>【課題】</p> <p>担任がもっと見通しをはっきりと持ち、拾った後のことや活動の終わりまで、子どもたち自身が意識して考えられるように指導・支援していけるとよかった。</p> <p>【成果】</p> <p>主体的に生き生きと活動していた。児童の興味や思い、やりたいことを実現させることを大切に活動することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>グループごとの活動が多岐にわたってしまい、担任一人では見切れなくなってしまう。“地域を巻き込む”という部分や、企業との連携にどう取り組むとよかったかという点について課題が残った。</p>

11. 今年度ご協力いただいた方、団体、企業など

名前	実施した時期	協力の内容
中本賢さん	5月に2回	ガタガタ体験引率 多摩川の生き物の話・多摩川の歴史の話
カワスイ	5月	ガタガタ体験引率 見学
海の落語プロジェクト 井出迫さん	6月	海の落語、海のお話
ビーグッドカフェ 加藤さん	7月	東芝未来科学館のバス手配
東芝未来科学館	7月	見学およびバス手配
多摩川塾・阿部さん 環境研究所	7月	殿町干潟見学の手配、相談
花重 石井さん	11月	商店街での活動のサポート (ポスター貼り・ティッシュ配り・壁画アート)
エコプロ2022	12月	見学(事前申し込みでバス代無料)
アート集団 佐川さん	1月～2月	商店街での壁画アート
テラサイクル	1月	製品サンプルをレンタル
グリーンバード 越水さん	12月	電話にてゴミ拾い活動に関するアドバイスをいただいた。
多摩川水の学校 村上さん	12月	電話にて生き物の住処づくり活動に関するアドバイスをいただいた。
スナインバレー 鳴谷さん	1月	SDGsフェスにて「海のプラごみ」についてご講演いただいた。 (東扇島砂浜でマイクロプラスチック探しできるとの事)

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7211-006	平間ガサガサ探検隊	川崎市立平間小学校

主な実施箇所 ガス橋下干潟（東京都側）、平間銀座商店街

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 （縮尺は1/50万～1/100万程度）
 ※活動場所在「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。

助成事業の主な実施箇所

